

取扱暗号資産の概要説明書

概要書更新年月日		2023年3月2日
【基礎情報】	日本語の名称	ロンドコイン
	現地語の名称	ROND Coin
	呼称(日本語の名称と同じ場合は一表記)	—
	ティッカーコード(シンボル)	ROND
	発行開始(年、月、日)	2021年12月13日
	時価総額(ドル基準、例: \$ 1,000,000)	\$3,553,433,713(2023年3月2日現在)
	時価総額(円基準、例: ¥ 100,000,000)	¥483,800,000,000(2023年3月2日現在)
	主な利用目的	送金、決済、投資等
	利用制限の有無	なし
	海外流通の有無	あり
	国内流通の有無	なし → 取扱開始時にはあり
	店舗等の利用制限の有無	なし
	利用制限を行う者の属性	なし
	利用制限の内容	なし
	一般的な性格	GENSOKISHI ONLINEは「Free to Play」& 「Play to Earn」& 「UGC to Earn」をコンセプトにWeb3.0 X メタバース X GameFiのメタバース空間の構築を目指しており、RONDはメタバース内の経済を構成する基軸通貨である。参加者はRONDによって様々な経済活動が可能である。 主な使用例は以下の通り。 ・メタバース内の様々な経済活動時 ・メタバース内ショッピングモールでのアイテムや商品の購入時 ・メタバース内での美術館等の展示場への入場料 ・メタバース内でのコンサートやイベントなどの催し物への参加料 ・メタバース内アイテム、ベース武器、防具の購入時 ・ある特定の条件でしか参加できないモードに参加する際 ・ベース装備を強化・鍛錬する時 ・LAND間をワープして時短したい時 ・イベント参加の入場料 ・UGCマップを遊ぶ時の入場料 ・クエストを受ける挑戦料 …など
	法的性格(資金決済法第2条第5項第1号、第2号の別 例:第1号)	第1号
	2号の場合:相互に交換可能な1号暗号資産の名称	なし
	発行通貨に対する資産(支払準備資産)の有無および名称	なし
	発行者に対する保有者の支払請求権(買取請求権)	なし
	支払請求(買取請求)による受渡資産	なし
	発行者が保有者に付与するその他の権利	なし
	発行者に対して保有者が負う義務	なし
	価値の決定	保有者間の自由売買による
交換(売買)の制限	なし	
価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態	パブリック型ブロックチェーン	
保有・移転記録台帳の公開、非公開の別	公開	
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録	
利用者の真正性の確認	秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。	
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンであり、共にProof of Stake(PoS)である。 記録者(バリデータ)が取引履歴を管理し、ETHをステーキングしている量に応じてブロック生成権が付与される形態。	
誕生時に技術的なベースとなったコインの有無とその名称(アルトコインのみ)	(Ethereum): ETH (Polygon): Cosmos-SDK	
【取引単位・交換制限】	取引単位の呼称	ROND
	保有・移転記録の最低単位	0.000000000000000001 ROND
	交換可能な通貨又は暗号資産	全て可
	交換制限	なし
	制限内容	なし
交換市場の有無	あり	

【運動する資産の有無等】	価値が連動する資産等の有無	なし
	価値連動する資産等の名称	なし
	価値連動する資産等の内容	なし
	価値連動する資産との交換の可否	なし
	価値連動する資産との交換比率	なし
	価値連動する資産との交換条件	なし
【付加価値】	その他の付加価値（サービス）の有無	あり
	付加価値（サービス）の内容	NFTを用いたゲーム内アイテムの作成等
	過去3年間の付加価値（サービス）の提供状況	なし
【発行状況】	発行者	あり
	発行主体の名称	MetaStar.Inc
	発行主体の所在地	Ketevan Tsamebuli ave./Bochorma str. 50/18, floor 2, Georgia
	発行主体の属性等	営利企業
	発行主体概要	GENSOKISHIプロジェクトの発行体
	発行通貨の信用力に関する説明	当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンである。 以下にEthereum・Polygonについて記載する。 Ethereum: プロトコル部分に関して技術的に安定している。 Polygon: ネットワークに分散的に参加する記録者の承認によって、信用力が維持されている。
	発行方法	初期発行(100%)とメタバースを使用することで無料で得られるトークンであり、利用者の増加を見込んで1兆個を発行。メタバースサービス開始後の利用者状況から、2022年5月31日初期発行数の96%を償却。
	発行可能数	1,000,000,000,000ROND
	発行可能数の変更可否	不可
	変更方法	—
	変更の制約条件	—
	発行済み数量	1,000,000,000,000ROND
	今後の発行予定または発行条件	メタバースを使用することで無料で得られるトークンのため、利用者の増加を見込んで初期発行100%(1兆ROND)発行しているが、メタバースサービス開始後の利用者状況から、 ①2022年5月31日初期発行数の96%(9600億ROND)を償却。 ②2022年9月30日残り400億RONDのうち97.5%にあたる390億RONDを償却し、10億RONDに調整。 安定した価格を維持しつつ、RONDの使用者が急増した際にも経済成長を実現できるような運営を目指して、トークンの価値担保と、透明性の向上を目的に償却を実施。 今後、ユーザー数の増加によりMarketcapの流動数が一定以上増えた際に、新規対応チェーンにてRONDをMintして、2022年9月30日に償却した390億個のトークンを新規発行予定。 RONDはメタバース内で使用する通貨となる為、安定した価格を維持しつつ、RONDの使用者が急増した際にも経済成長を実現できるような運営を目指す。 https://genso.game/ja/news/detail/?seq=7a75366a4132395338727273706d506e702f326d75513d3d (補足) 複数の仮想通貨取引所に上場する際に流動性を提供するため、10,000,000MV(5%)を発行流動性提供 メタバースの正式サービスが開始された後に、メタバースエコシステム基金として20,000,000MV(10%)を発行 NFTの戦略的パートナーシップやプロモーションで10,000,000MV(5%)を発行 以下、White Paperより メタバースエコシステム基金 560,000,000 :28%(*トレードや販売をする上で流動性を提供するための在庫) マーケティング 240,000,000 :12% 流動性と仮想通貨取引所への上場 540,000,000 :27% プライベートセール 100,000,000 :5% 運営チーム割り当て 440,000,000 :22% アドバイザー、協力者 120,000,000 :6%
	過去3年間の発行状況	初期発行(100%:1,000,000,000,000ROND)
	過去3年間の発行理由	

過去3年間の償却状況	<p>①2022年5月31日全発行数1兆RONDのうち、全体の96%にあたる9600億RONDを償却。 https://genso_game/ja/news/detail/?seq=553737764f4a414b527463444b4647575479456f79513d3d https://polygonscan.com/tx/0xb6267bb1591e93376632bbd6be3753c490f0a2d7602e89e6cf07fa44ebecc817</p> <p>②2022年9月30日全発行数400億RONDのうち、全体の97.5%にあたる390億RONDを償却。 https://genso_game/ja/news/detail/?seq=7a75366a4132395338727273706d506e702f326d75513d3d https://etherscan.io/tx/0x5450f027a7a1d608e3c3b7a32d1af2e0da3d887afe9fdacef81d38a535fb1edc</p> <p>ROND(Polygon) 37,300,000,000ROND償却 ROND(ERC20) 1,700,000,000ROND償却 Total 39,000,000,000ROND償却</p>	
過去3年間の償却理由	<p>①トークンの価値担保と、透明性の向上を目指す。 ②安定した価格を維持しつつ、RONDの使用者が急増した際にも経済成長を実現できるような運営を目指す。 今後、ユーザー数の増加によりMarketcapの流動数が一定以上増えた際に、新規対応チェーンにてRONDをMintして、2022年9月30日に償却した390億個のトークンを新規発行予定。 RONDはメタバース内で使用する通貨となる為、安定した価格を維持しつつ、RONDの使用者が急増した際にも経済成長を実現できるような運営を目指す。</p>	
発行者の行う発行業務に対する監査の有無	-	
監査を実施する者の氏名又は名称	CerkiiK	
直近時点で行われた監査年月日	44740	
直近時点における監査結果	https://www.certik.com/projects/gensokishi-online-metaworld#audit (2022/2/21、2022/3/16の監査結果も公開されている)	
価値移転記録台帳に係る技術	ブロックチェーン技術の利用の有無	あり
	ブロックチェーンの形式	当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンである
	ブロックチェーン技術を利用しない場合には、その名称	-
	利用するブロックチェーン技術以外の技術の内容	なし
	価値移転認証の仕組み	<p>当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンである。 Ethereum・Polygon共にProof of Stake(PoS)。</p> <p>Proof of Stake(PoS)に則って、記録者(バリデータ)が取引履歴を管理し、ブロックを承認する。記録者になるにはMATIC(ERC-20準拠)をEthereumにステーキングする必要があり、記録者が悪意のある行動を取るとペナルティが課される(ステーキングしたMATICが没収される)台帳形式。</p>
	価値記録公開/非公開の別	公開
	保有者個人データの秘匿性の有無	あり
秘匿化の方法	公開鍵と秘密鍵による暗号化	
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	<p>オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決と承認者による確認を経て移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。</p>	

価値移転の記録者	記録者の数	・グローバルバリデータ: 100 https://polygon.technology/staking/ https://polygonscan.com/nodetracker/nodes
	記録者の分布状況	2022年3月2日現在のTop5 (Ethereum) United States: 2451ノード (48.08%) Germany: 645ノード (13.91%) Singapore: 225ノード (4.11%) United Kingdom: 214ノード (3.82%) Japan: 176ノード (3.27%) 出典: https://www.ethernodes.org/countries 2023年3月2日現在のTop5 (Polygon) United States: 137 (48.51%) Germany: 123 (33.58%) France: 14 (5.22%) Japan: 8 (2.99%) Canada: 6 (2.24%) 出典: https://polygonscan.com/nodetracker
	記録者の主な属性	当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンである。 以下にEthereum・Polygonについて記載する。 Ethereum: 記録者は不特定で、誰でも自由に記録者になれる。 Polygon: 記録者は、報酬を得るためにステーキング活動を行っているステーキングプール及びプール参加者が主体。
	記録の修正方法	当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンである。 以下にEthereum・Polygonについて記載する。 Ethereum: 記録者が合意し、各記録者が保管する台帳の修正を自ら行う。 Polygon: ブロックに記録された後は修正・変更は行われぬ。
	記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。
	価値移転の管理状況に対する監査の有無	なし
	監査を実施する者の氏名又は名称	—
	直近時点で行われた監査年月日	—
	その監査結果 (統括者に関する情報)	—
	記録者の統括者の有無	なし
統括者の名称	—	
統括者の所在地	—	
統括者の属性	—	
統括者の概要	—	
暗号資産に内在するリスク	価値移転ネットワークの脆弱性に関する特記事項	当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンである。 以下にEthereum・Polygonについて記載する。 Ethereum: 記録者が結託もしくは単独でその時点における計算能力の半分を上回る計算能力を得ることで、記録の変更が可能である。 Polygon: 第三者に秘密鍵を知られた場合には、利用者になりすまして送付指示を行うことができる。
	保有情報暗号化技術の脆弱性に関する特記事項	第三者に秘密鍵を知られた場合には、利用者になりすまして送付指示を行うことができる。
	発行者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	なし
	価値移転記録者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	—
	移転の記録が遅延する可能性に関する特記事項	当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンである。
	プログラムの不具合によるリスク等に関する特記事項	未検出のプログラムの脆弱性やプログラム更新などにより新たに生じた脆弱性を利用し、データが改竄される等のリスクはあるものの、現状は正常に稼働している。
	過去に発生したプログラムの不具合の発生状況に関する特記事項	なし
	非互換性のアップデート(ハードフォーク)の状況	当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンである。
	今後の非互換性アップデート予定	当社の取り扱うRONDはPolygonプラットフォームに準じており、PolygonはEthereumのチャイルドチェーンである。
	正常な稼働に影響を与えたサイバー攻撃の履歴	—
流通状況	価格データの出所	CoinMarketCap https://coinmarketcap.com/ja/currencies/rond/
	1取引単位当たり計算単価(ドル基準、例: \$ 1,000,000)	\$0.004 (2023年3月2日現在)
	1取引単位当たり計算単価(円基準、例: ¥ 100,000,000)	¥ 0.48 (2023年3月2日現在)
	ドル/円計算レート	約136.15円 (2023年3月2日基準) http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/index.php
	四半期取引数量(協会加盟会員合計)	—
備考		